Git、GitHubセットアップ手順書

v1.2

2015/10/13

# はじめに

本ドキュメントではGitのインストール、及びGitHubへのアカウント登録からGitHub上のチームへの参加方法について説明する。尚、Git、GitHubの使用方法については別途WEBサイトなどを参照されたい。

自席PCへのGitのインストールは関連部署にて行うため、2章は飛ばし、インストール完了後に3章の手順から実行すること。

Git SetupファイルはGit-1.9.4-preview20140611.exeを前提としている。

GitHubの説明は2014/7/23現在の動作を前提としている。

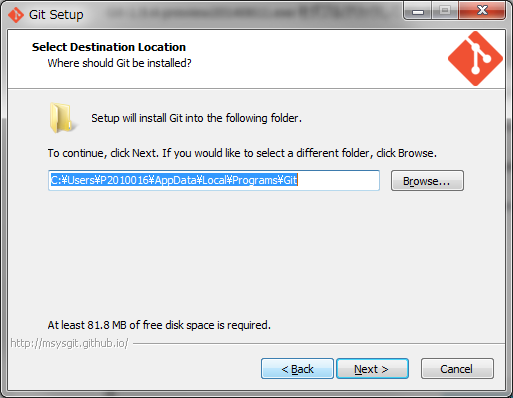
GitHubの説明は2014/7/23現在の動作を前提としている。追加テスト。

# Gitのインストール

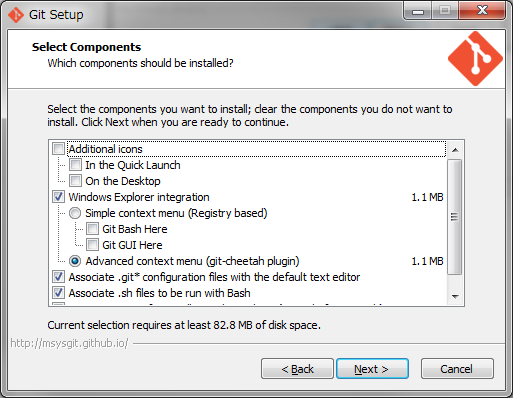
Y:\技術グループ\次期POS関連\Git関連ソフトウエアにある、Git-1.9.4-preview20140611.exeをダブルクリックし、Nextをクリックしていく。



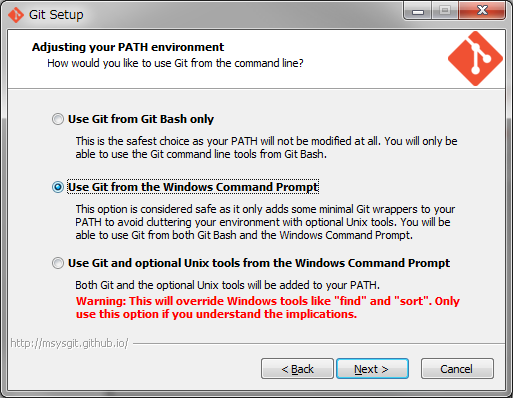
Select Destination Locationウィンドウではデフォルト値のままNextをクリック。



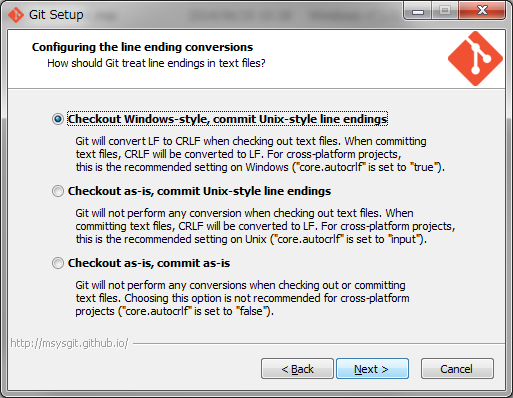
Select Compornentsウィンドウもデフォルト値のままNextをクリック。



Adjustion your PATH environmentウィンドウでは2番目のUse Git from the Windows Command Promptを選択し、Nextをクリック。



Configuring the line ending conversionsウィンドウでは1番目のCheckout Windows-style,commit Unix-style line endingsを選択し、Nextをクリック。インストールが始まる。



インストールが終了すると下のウィンドウが表示される。Finishをクリックして終了。



# Gitのセットアップ

## メンバID、メールアドレスの設定

* WindowsコマンドラインからGitメンバID、メールアドレスの設定を行う。

Git config –global user.name GitメンバID

git config –global user.email メールアドレス

GitメンバIDは後述のGitメンバ一覧表に割り当てられた自分のものを設定する。

TATSUNOメンバについてはメールアドレスは、[xxxxxxx\_xxxxxxx@tatsuno.co.jp](mailto:xxxxxxx_xxxxxxx@tatsuno.co.jp)を登録する。

例:

git config –global user.name "TPGT00007"

git config –global user.email "kazunori\_tanaka@tatsuno.co.jp"

## GitメンバIDコード体系

GitメンバIDは9桁で以下のコード体系になっている。

TPGT00000

5桁目から5桁は連番。

4桁目は組織区分。TはTATSUNOメンバ。KはKISメンバ。

1桁目から3桁は固定値でTPG（Tatsuno Pos Groupの頭文字）。

## GitメンバID一覧

現在GitメンバIDは以下のように割り当てている。必要に応じて順次追加していく。

KIS殿の割り当ては別途行う。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| № | 名前 | GitメンバID |
| 1 | 北見　圭司 | TPGT00001 |
| 2 | 武村　明彦 | TPGT00002 |
| 3 | 青木　伸夫 | TPGT00003 |
| 4 | 山田　隆嗣 | TPGT00004 |
| 5 | 辻　弘行 | TPGT00005 |
| 6 | 梅木　健一 | TPGT00006 |
| 7 | 田中　和則 | TPGT00007 |
| 8 | 福本　正一 | TPGT00008 |
| 9 | 武山　裕明 | TPGT00009 |
| 10 | 中村　健太 | TPGT00010 |
| 11 | 東　健司 | TPGT00011 |

# GitHubアカウント登録

## GitHubへのSine up

* WEBブラウザより以下のWEBにアクセスする。

<https://github.com/>

* 下図赤枠に自分のGitメンバID、メールアドレス、パスワードを設定する。

GitメンバIDとGitHubのアカウントは同一とする。

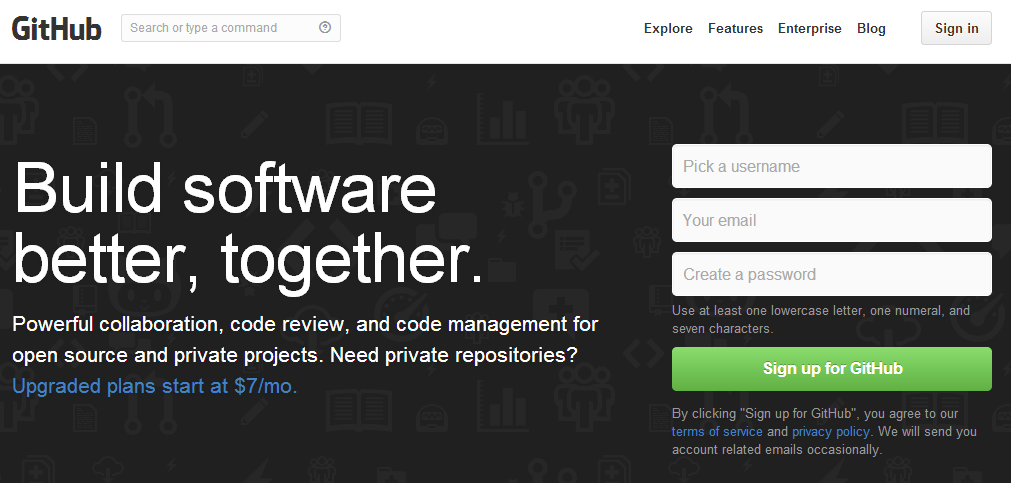
TATSUNOメンバについてはメールアドレスは、[xxxxxxx\_xxxxxxx@tatsuno.co.jp](mailto:xxxxxxx_xxxxxxx@tatsuno.co.jp)を登録する。

パスワードはGitメンバ名＋71…とすること。

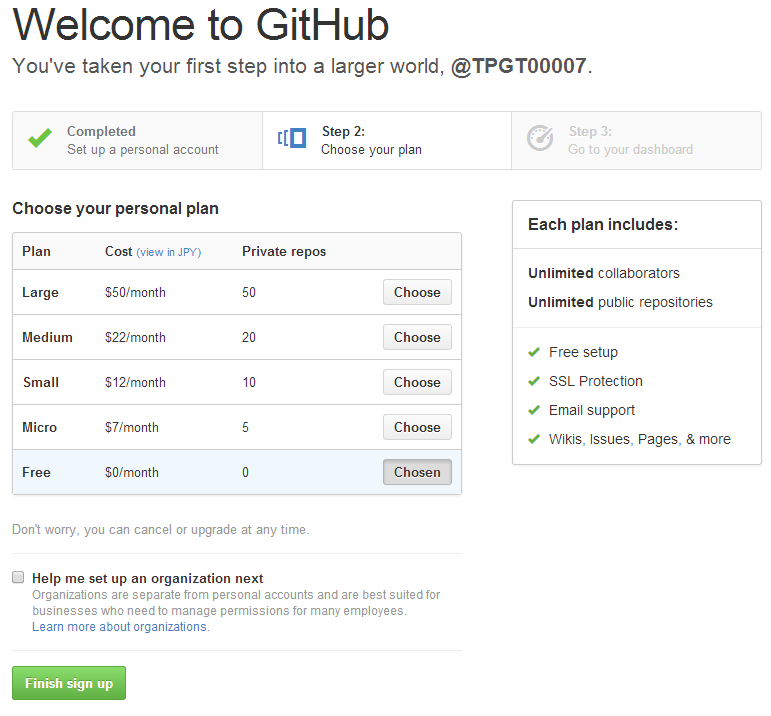
例えばGitメンバ名TPGT000001の場合、TPGT0000171…となる。

※パスワードは『…』で省略して表記している。

* Sing up for GitHubをクリックする。次ページに続く。



* 下図赤枠のFreeプランが選ばれていることを確認する。
* 緑色のFinish sign upボタンをクリックする。



## メールアドレスの検証

GitHubよりメールアドレス検証用のメールが届くので、その中のリンクをクリックすると、以下確認画面になるので、Confirmをクリックし検証を完了する。



※上記図ではtatsuno-gr.comとなっているが、tatsuno.co.jpを登録する。

## Git CUIやGUIでGitHubに接続するときにユーザ名、パスワード入力を省略するための設定

GitHub上のリモートリポジトリにGit CUIやGUIで接続するときに、ユーザ名、パスワードの入力を求められ入力する必要があるが、タイプミス等が発生し効率が悪いため、下記の設定を行う。

* Y:\技術グループ\次期POS関連\Git関連ソフトウエアにある\_netrcファイルを自席PCのC:\Users\PXXXXXXXフォルダにコピーする。
* コピーした\_netrcファイルをテキストエディタで開き、赤字部分を自分のGitメンバIDに変更する。またpasswordを同じように自分のパスワードに変更する。

machine github.com

login <GitHubメンバID>

password <GitHubパスワード>

例：GitメンバIDがTPGT00007の場合

machine github.com

login TPGT00007

password TPGT0000771…

* GitHub上のリモートリポジトリと接続する必要があるローカルリポジトリを作成したフォルダ（.gitフォルダがあるフォルダ）で右クリックし、Git Bashを起動し以下のコマンドを実行する。

尚、リポジトリを作成するまでは、変更できない。

git remote set-url origin https://GitHubメンバID:GitHubパスワード@github.com/tpgorg/リポジトリ名.git

例：リポジトリ名がGeminiでGitメンバIDがTPGT00007の場合

git remote set-url origin https://TPGT00007: TPGT0000771… @github.com/tpgorg/Gemini.git

以下のコマンドで設定内容が確認できる。

git remote –v

\_netrc及び.git\configにパスワードが平文で保存されるので管理に注意すること。

# GitHub上のチームへの参加

## GitHub上に作成してあるチームに参加する

* GitHubに自分のアカウントを作成したら、その旨をGitHub管理者（kazunori\_tanaka@tatsuno.co.jp）にメールする。

メールには参加チーム名、Gitメンバ名を記載する。

メールを受信した管理者が該当のチームに登録する。

* 管理者がGitHub上での登録を完了すると、tpgscm added you to the tpgorg team…という表題のメールがtpgorg< noreply@github.com>から送られる。

# GitHub上の組織構成

GitHub上に存在する組織構成について説明する。

GitHub上にtpgscmという管理用のメインアカウントが存在する。

そのtpgscmアカウントの中にtpgorgという組織が存在する。

※図中のメンバは仮の値。

# GitHub上のリポジトリとチーム構成

GitHub上のリポジトリとチーム構成について説明する。

現在はGemini、AP9リポジトリが存在する。

GeminiリポジトリにはCollaboratorsとしてGemini BE Teamが割り当てられている。

AP9リポジトリにはAP9 Teamが割り当てられている。更にチーム内に各メンバが割り当てられている。

チーム単位アクセス権限が割り当てられており、現在はWrite Accessとなっている。

アクセス権限による動作の違いは下記WEBを参照。

<https://help.github.com/articles/permission-levels-for-an-organization-repository>

※図中のメンバは仮の値。

リポジトリは必要に応じて追加できるが、現在の契約では10リポジトリまでとなっている。

# 変更履歴

## v1.0　2014/7/23

初版作成。

## v1.1　2014/7/25

Gitのインストールについて担当部署が行うため、読み飛ばすように変更。

GitメンバID一覧にメンバを追加。

Git CUI、GUIでリモートアクセス時にユーザ名、パスワードを省略するための手順を追加。

本章の変更履歴を追加。

## v1.2　2015/10/13

GitメンバID一覧に東係長を追加。